

# 「ツマジロクサヨトウ」にご注意ください！

令和元年7月に、県内で「ツマジロクサヨトウ」の発生が初めて確認されました。

本種は人畜には無害ですが、幼虫がトウモロコシをはじめ、広範囲な種類の作物を食害します。

沖縄県農林水産部では、県内における本種の発生状況を把握するための調査をしています。

そこで、「ツマジロクサヨトウ」と思われる幼虫がいましたら下の問い合わせ先にご連絡ください。

## ＜食害が知られているおもな植物＞

イネ科(トウモロコシ、イネ、サトウキビ、ソルゴー等)、ウリ科(キュウリ等)、キク科(キク等)、ナス科(トマト、ナス等)、アブラナ科、ヒルガオ科(サツマイモ等)、マメ科(ダイズ等)など。

## ■幼虫の特徴■

- 大きくなると体長約4cm。
- 頭部に網目模様がある。
- 正面から見ると、白っぽい「逆Y字」状の線がみえる。



問い合わせ 沖縄県病害虫防除技術センター ☎886-3880